

みのかも定住自立圏事業

加茂の遺跡探訪展

会期

2014年2月8日(土)
～3月23日(日)

9:00-17:00 休館:月曜日

会場 美濃加茂市民ミュージアム
企画展示室

観覧料 無料

【関係機関・団体】

美濃加茂市、坂祝町、富加町、七宗町、八百津町、
白川町、東白川村
加茂の文化遺産探訪実行委員会
NPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク

定住自立圏構想

継続的に暮らし続けることができるような、住みやすいエリアを目指す計画を「定住自立圏構想」といいます。この事業は、人口5万人以上の「中心市」を定め、中心市と近隣の町村が協力し、まちづくりを行っていくものです。美濃加茂市と近隣の町村は、民間企業等と協定を結び、加茂エリア全体の活性化を目指して活動しています。現在は市町村で互いの良いところを活かしあい、協力した活動が進められています。

本展は、その一環として開催されます。 <http://wikii.jp/kamomaru/doku.php>

わたしたちの「まち」には遺跡がある



美濃加茂市:赤彩壺・発掘調査／為岡遺跡



坂祝町:縄文土器／芦戸遺跡



富加町:発掘調査／稻荷山古墳



七宗町:石器／川並椋原出土



八百津町:ナイフ形石器／越水遺跡



白川町:縄文土器／広島遺跡



東白川村:縄文土器／
陰地遺跡、岐阜県文化財保護センター蔵

みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム

MINOKAMO CITY MUSEUM

〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1
TEL.0574-28-1110 FAX.0574-28-1104
<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

加茂の遺跡探訪展

1万年をさかのぼる歴史が知られる、加茂という地域は、これまでに各時代の遺跡が調査・記録されてきました。発掘調査を通じて、加茂の歴史を振り返ると共に今も現地に残る遺跡について、展覧会を通じて探訪します。

また、伝えられてきた文化遺産や歴史と地域、それに関わる市民活動を併せて紹介します。

forum & event

ミュージアムトーク | 歴史にさわる

◆2月9日(日)、3月5日(水) ①11:00 - 12:00 ②13:00 - 14:00 ◆会場 企画展示室

展示室では期間中、この地域で発掘・発見されたホンモノの出土品を手にとって、自由に確かめることのできるコーナーがあります。そのうち上記日程では企画展の解説と併せて、博物館のスタッフと気軽にお話ししながら、ゆっくりと体験することができます。

参加料：無料 当日受付



ミュージアムイベント | 堀江武史ワークショップ

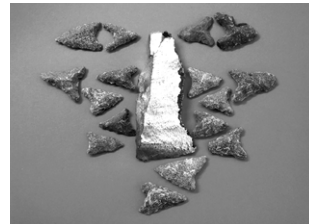
◆2月16日(日) 13:00 - 16:00 ◆会場 工芸室

縄文土器などの出土品に手でふれたり、森にある遺跡を体感したりする「さわるツアー」では、石器の材料となる石を探してみます。その石で鋭い刃のあるナイフを一緒につくります。つくった石器は、本物の矢じりなどと共に、ガラスケースへ展示します。

参加料：無料 定員：15名 事前申込：1月5日(日)～2月9日(日)まで

申込方法：文化の森受付、はがき(住所・氏名・電話番号・講座名を記入)、ホームページ講座申込専用フォームより。

応募者多数の場合、抽選。



堀江武史——1967年東京生まれ。府中工房代表。國學院大学で考古学を学んだ後、研究と執筆活動、文化財修復を続けると共に、縄文と現代美術との協同をテーマに考察を深めている。「仮面」に関心を寄せており、『漆の面 時前縄文人』ほかの作品を制作。近年では、展覧会「ジョモニスムⅡ 縄文とかかわる3人の現代美術」(2011, 御所野縄文博物館, 岩手県)などを企画、出品。



ミュージアムフォーラム | 文化遺産と市民—その関わり合いを考える

◆2月23日(日) 13:00 - 16:30 ◆会場 緑のホール

私たちの暮らす「まち」には、先人により文化財、博物館資料、歴史的遺産、文化遺産などと呼ばれるような多くのものが、大切に守り伝えられてきました。近年、それらの魅力や価値を現代に生きる私たち自身が新たに引き出すことで、人々との関わり合いを深めたり広げたりする活動が取り組まれています。

フォーラムでは、活動の報告(NPO法人楽古ノ大阪府、NPO法人ニワ里ねっとノ愛知県、阿智村役場ノ長野県、加茂の文化遺産探訪実行委員会)・パネルディスカッションを通じて、関心のある方々が出会い、交流することで、現状と今後を考えてみます。

参加料：無料 定員：120名 当日受付



文化遺産 × わたしたち — 加茂の文化遺産探訪実行委員会

地域の文化遺産を探訪して、参加した人々が互いに関わり合いを深めていく活動が、2年目となりました。

写真1(7/19開催)では、坂祝町で発見された1500年前頃の焼き物(須恵器)を手に入れています。今も、坂祝町中央公民館で展示されている「本物」です。身近なところにある文化遺産について、美濃加茂市・坂祝町・富加町の方々を中心に各地で一緒に学んでいます。

写真2(7/23開催)は、子どもたちと一緒に小高い丘へ登っています。坂祝町酒倉にある、1400年前につくられた「火塚古墳」の頂上です。そこからは、美濃加茂市の市街地辺りまで見渡せました。文化の森で開催した講座で、坂祝の方には住民として、子どもたちに語っていただきました。古墳を常に間近でみつめている方々だからこそ、できる活動です。

写真3では、坂祝町郷土資料館の移転に伴い、新しい場所で展示をつくらうと取り組んでいます。ちょっと昔の、この地域の暮らしぶりを伝える資料について整理・調査・展示の作業をしていると、忘れていた「思い出」が次々によみがえってきたり、それを語り合ったりする「時間」となっています。

そして10～12月には『かもまる歴史講座』として、それぞれの「まち」と「文化遺産」を自分たちで案内し合って、参加者と一緒に3つの市町を行き交うことができました。

文化の森・坂祝町中央公民館・富加町郷土資料館でそれぞれに活動していた方々が交流を深め、つながってきています。(昨年度については http://www.forest.minokamo.gifu.jp/tenrankai/24/2012_11.html 参照)「加茂」で暮らす私たちの経験・記憶・感じ方・知識と博物館が出会うところから、この活動は始まります。今後はさらに、そこで楽しそうに活動している人々に惹かれながら「新たな関わり」が生まれること、それが地域のあたたかな「絆」として、大切に蓄えられていくことが期待されます。

*お問い合わせは、みのかも文化の森(TEL 0574-28-1110)まで



1



2



3